

## GFHNYシリーズ 食品および飲料グレード ナイロンおよびゼータ電位ナイロン

GFHNYシリーズの高純度食品および飲料グレードのナイロン6,6メンブレンを採用したナイロンおよびゼータ電位ナイロンフィルターカートリッジは、非常に安定した食品・飲料の製造において優れた微生物保持力を提供するという実績があります。オプションの正のゼータ電位表面電荷 (Plus +) は、ヘイズ、着色体、エンドキシンの除去を含むアプリケーションに対して、指定されたミクロン定格よりも、はるかに小さい粒子の捕捉性能を向上させます。

カートリッジはクリーンルーム環境で製造され、清浄度と溶出性の低減を達成するために18MΩの超純水で洗浄されます。耐用年数を最大化させるために繰り返しの熱湯消毒とその場での蒸気滅菌サイクルを許容するように設計されています。

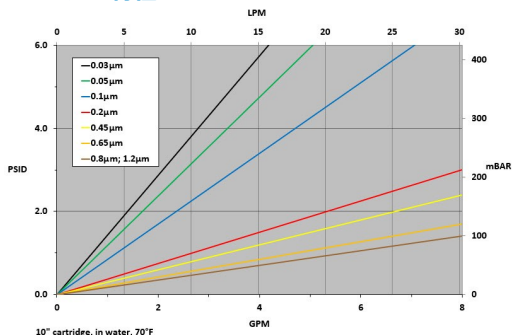
各エレメントは、最適な性能を保证するために完全性についてデフュージョン試験がされています。



### 微生物保持性能

グレード	指標菌	対数減少値 (LRV)
0.2μ	<i>Brevundimonas diminuta</i>	9.1
0.45μ	<i>Serratia marcescens</i>	11.0
0.65μ	<i>Saccharomyces cerevisiae</i>	11.0

### 流量特性



### 注文情報

GFHNY	ろ過精度 (μ)	A	長さ	C	エンドキャップ	リング/ガスケット	-	付加物
GFHNY +	0.03		10" (25.4 cm)		2 = DOE フラットヘッド スカット	B = BUNA		CS = 316SS圧縮ばね
	0.05		20" (50.8 cm)		3 = 222 w /フィン	E = EPDM		I = ステンレス鋼インサート
	0.1		30" (76.2 cm)		4 = 222 / フラットキャップ°	S = シリコン		
	0.2		40" (101.6 cm)		6 = 226 / フラットキャップ°	T = テフロン®カプセルバイトン®		
	0.45				7 = 226 / フィン	V = バイトン®		
	0.65				16 = 213内部リング	Z = テフロン®カプセルシリコン		
	0.8				28 = 222 3 tab/ FIN			
	1.2							

免責事項：提示されたろ過データは、管理された実験室試験で観察された性能を代表しています。それは保証、仕様または使用の適合性の表明として与えられていません。特定の性能は、汚染物質の種類、流体の特性、流速、および環境条件によって大きく異なります。ユーザーが必要に応じて製品の機能を確認するために、徹底的な認定テストを実施することをお勧めします。追加のテクニカルサポートについては、要求に応じて製品パフォーマンスガイドを入手できます。

DS\_GFHNY\_190701\_rev1

### 代表的なアプリケーション

- 飲料水
- ワイン
- ソフトドリンク
- 製薬
- 発酵
- エンドキシン除去

### 材質

膜 ..... ナイロン 6,6  
 サポート材 ..... ポリプロピレン  
 エンドキャップ ..... ポリプロピレン  
 センターコア ..... ポリプロピレン  
 アウターケース ..... ポリプロピレン  
 Oリング/ガスケット ..... BUNA, EPDM, シリコン, テフロン®カプセルバイトン®, バイトン®, テフロン®カプセルシリコン

### 温水・スチーム耐久性 (目安)

温水 ..... 80℃、30分間  
 蒸気滅菌 ..... 121℃、30分間  
 マルチサイクル

化学薬品：カートリッジはほとんどの化学消毒剤と互換性があります。

注：温水消毒または蒸気消毒を行うすべてのカートリッジには、ステンレス鋼製のインサートオプションが必要です。

### 寸法

長さ：公称10~40インチ (25.4~101.6 cm)

外径：公称2.70インチ (7.0 cm)

### 操作条件

推奨交換差圧 ..... 35 PSID (2.4bar)  
 最大差圧 ..... 50 PSID (3.4 bar) @68°F (20℃)  
 最高温度 ..... 176°F (80℃)

### 材質の安全性

すべてのポリプロピレン製部品は、プラスチックのUSPクラス VI-121℃による生物学的安全性の仕様を満たしています。

### 食品安全コンプライアンス

構成材料は、米国連邦規則集21CFRに詳述されているように、食品と飲料の接触使用に関するFDAの規制に準拠しています。ろ材およびハードウェアを製造するために使用される材料は、EU指令2002/72 / EC、1935/2004、および/または10/2011に従って食品と接触して使用するのに安全であると見なされます。